
大石ぶちよし物語

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大石ぶちよし物語

【Nコード】

N6128N

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

ぶちよしはロリ華が好きであった。でもロリ華にはたけしという彼氏がいた。そして、たけしはぶちよしの親友であった。

大石ぶちよしは、ロリ華に恋していた。

しかし、ロリ華にはたけしという彼氏がいる。しかも、たけしは、ぶちよしの親友だ。

張り裂けそうである。正直、通り魔とかしたい。

しかし、通り魔をすると死刑になりロリ華と会えなくなるのでやだ。ぶちよしは部屋で宿題をする。

円周率（パイ）を使った計算問題。

当然、ロリ華のおつを想像してしまうぶちよしだ。

「ああん。かわいい。おつ。いったいロリ華ちゃんのおつの体積はどれくらいなんだ。もんで確かめてみよう。もみもみ」

「いやん。くすぐりたいよう。ぷっちゃん」

ぶちよしは興奮してきた。

宿題を中断し、ベッドに寝転がり、ごそごそする。

しばらくお待ちください。

スッキリしたぶちよしは宿題がはかどった。

翌日、数学の授業。ぶちよしは、先生に指され、円の面積の解答を黒板に書いた。

先生がなかなかやるなと誉め、じゃあこれはどうだと言い、円の中にさらに小さい円を書く。

まあドーナツ型にしてその面積を求めさせようとしたわけだ。

ただ、まだ先生が塗ってないので、どうしてもおつに見える。

「ロリ華ちゃん！」

ぶちよしは叫んだ。クラスのみんながびっくりしてる。

ロリ華が「なあに」と言った。

「おっ もませて！」

と叫びたかったが、たけしがにらんでる。ボコされる。

ぷちよしは仕方なしに、何でもないと答えた。ロリ華は「???」
という表情。

ロリ華ちゃん！ロリ華ちゃん！ロリ華ちゃん！

ぷちよしは家に帰り、肉まん二個用意し、もんだ。

「はあはあ。ロリ華ちゃんのおっ。ロリ華ちゃんのおっ」

ああ何という切ないシーン。作者、書いてて泣きそうですよ。

ぷちよしは、このままだと精神が病んでくると思い、庭に飛び出して、竹刀を振った。

「おっ！ おっ！ ！」

「うるせえ！」

隣のもちおさん（引きこもり）に怒鳴られたので、ぷちよしは自転車に乗って飛ばした。

「おっ！ おっ！ ！」

風が気持ちいい。

知らぬ間に、プリン二丁目にあるロリ華の家まで来てしまった。

「うう。切ない」

ぷちよしは、二階の窓の明かりを見つめながら涙が出そうだった。

とその時！

背後に気配。

「誰だ！」

「そりゃこっちのセリフだ」

た、たけしいい???

「何でお前がいるの」

「だから、そりゃこっちのセリフじゃい」

しかし、二人は何も言わずともわかる。たけしも彼氏とはいえ、まだ中1なので、ロリ華におっぱいをもませてもらえないのだろう。

二人は、ロリ華の庭にある木によじ登った。

「あっロリ華ちゃん」

「げっロリ華」

何と、部屋で、ロリ華が自分のおっ
を手で。。

児童書ではこれ以上書けません。

書けません!!!

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6128n/>

大石ぷちよし物語

2010年10月11日02時19分発行